

## これまで公認ファシリテーター資格を取得いただいたみなさまへ 制度改定の大切なお知らせ

平素より、SDGs de 地方創生ゲームをご活用いただき、誠にありがとうございます。

サービス開始来、特に早期に資格を取得いただいたみなさまには、各地域、各機会で本ゲームが届けたい思いの部分も含めて積極的に広げてくださり、事務局一同感謝しております。ありがとうございます。

現在、ご存知の通り公認ファシリテーター資格を取得したいとする方々が、大変ありがたいことに増え続けており、全国各地に仲間ができる喜びと嬉しさの一方で、本プロジェクトを持続可能なモデルにしていく事務局としての責任を随所で痛感しております。

事務局ではこうした背景と、今後みなさまにより良い環境を提供し続けるために、以下の通り公認ファシリテーター制度のあり方そのものを見直すことといたしました。

長文で恐縮ですが、大切なお知らせになりますのでぜひご一読くださいませ。

### 1 | 公認ファシリテーター「サポート費用」の導入について

2018年10月神戸市にてはじめて公開体験会を開催してから1年が経過する2019年10月以降受講いただく公認ファシリテーターのみなさまには「サポート費用」を以下の通りご負担いただく制度へと改定いたします。

これまで	資格取得費用のみお支払い
2019年10月以降	資格取得費用+サポート費用年間13,200円(税込:月1,100円)をお支払い
現公認ファシリテーター	<u>サポート費用年間13,200円(税込:月1,100円)をお支払い</u>

本制度改定に伴い、すでに資格を取得いただいた現公認ファシリテーターのみなさまには、先行投資的に資格を取得いただいていることや、制度改定についてのご理解を賜りたく、

**サポート費用の適用**      2020年8月末まで無料

の特別条件を設定させていただきます。

行政機関や教育機関等にご所属で、無償での開催を基本とされている方や、開催自体ご多忙でなかなか実施できない方もいらっしゃるかとは思いますが、公認ファシリテーター同士の良質なネットワーク、継続的な仲間の輩出、ともに発展できる持続可能なプログラムの実装を目的としたサポート体制をより強化・充実するために、制度改定についてご理解賜れば幸甚です。

## 2 | 「サポート費用」の使用用途について

サポート費用については、これまでみなさまの活動を後押ししていくために行ってきた

- ・公認ファシリテーター情報の登録・公開、加筆修正
- ・公認ファシリテーター主催イベントの告知・PR、加筆修正
- ・プレゼン資料の提供
- ・ご質問やご相談へのご回答
- ・紛失したカードの補填（年間5枚を想定。6枚目以降は実費）

といった様々なサポートの維持継続に加え、

- ・ファシリテーターコミュニティのさらなる発展的運営  
（オンライン（Zoom）によるファシリテーター向け勉強会の企画、開催など）
- ・カードのリニューアル、見直し検討  
（見直し後、修正したカードの無償提供含む）
- ・ファシリテーションクオリティ向上に役立つツールの提供  
（地方創生に関するノウハウ提供、ファシリテーション技術の高度化など）
- ・事務局に届いた研修依頼案件の積極的ご紹介  
（ゲーム開催依頼や、ファシリテーター派遣依頼、事務局との協働事業など）
- ・SDGs de 地方創生ゲームのプレゼンスを高める事務局としての広報、PR  
（取材対応といったパブリシティ、SNSの活用など）

といった、よりみなさまと発展的かつ継続的に成長できるアクションに使用していく次第です。

本制度改定に伴い、2020年9月以降の「サポート費用」お支払いがどうしても難しい方の諸事情を鑑み、

**サポート不要オプション サポート費用無料 \*ただし上記各種サポートは受けられません**

も準備いたしました。

これまでともにゲームの発展にご協力いただいたみなさま全員に、事務局としてはご理解ご協力いただきたく考えておりますが「非営利パッケージ」をご希望の方は、その旨個別に事務局へご連絡賜れば幸いです。

発展的で、持続可能なプロジェクトへと成長するため、重ね重ね新制度改定に伴う「サポート費用」導入およびその使用用途について、ご理解ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

### 3 | カードキットのレンタル化について

新制度では、カードキットは「レンタル制度」へと改定いたします。

これまで	資格取得費用にカードキット「購入」代金が含まれる
2019年10月以降	「購入」はできず、サポート費用を支払うことで「レンタル」できる

この1年間の活動を通じ、現公認ファシリテーターのみなさまには、ゲームの質を向上するための真摯なご意見や、場の創出に各方面ご尽力いただきました。そうした志の高いみなさまとともに高めてきたゲームゆえ、そのツールである本カードキットを「購入し取得する」ことだけが資格取得の目的となってしまう状況を、今後質の高い公認ファシリテーターを増やしていく過程で未然に防ぎたいと考えるに至りました。

相互に高め、それぞれの立場でより良くしていかなとする対等な関係を事務局と公認ファシリテーターのみなさまとの間で維持継続するために、「サポート費用」をお支払いいただいた方に、カードを「レンタル」する制度へと改定いたします。

こうした背景を踏まえ、現公認ファシリテーターのみなさまにおかれましても、営利・非営利のステータスにかかわらず、活動休止の折にはカードキットのご返却を承り、事務局で有効活用させていただきます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 4 | 利用フィーの改定について

開発元であるイシュープラスデザインとプロジェクトデザインが、両社のノウハウを結集して制作した知的財産としてのコンテンツを利用するいただくために設定された「利用フィー（パーセンテージ・掛け率）」を以下の通り改定いたします。

これまで	交通費、宿泊費を除いた売上（税込）が5万円以上である場合、その売上の20%
2019年10月以降	総売上金額の20% ただし、総売上5万円未満の場合は無料

これまで通り、本利用フィーが発生するシチュエーションとしては、SDGs de 地方創生を使ったイベントやワークショップを有料開催したり、研修サービスとして外部に販売したりするケースが該当いたします。クライアント企業や団体・組織がイベント等に対して拠出する金額や、個人の参加者が支払った金額の合計金額が総売上となります。

総売上金額へと変更した経緯としては、書籍等の著作物における著作権は売上の一定割合で、著作権料

を除く 80% をベースとして経費や運営者側利益を捻出するのが一般的であり、経済合理性の観点から持続可能な運営モデルであると考えたためです。

制度改定後も、総売上が 5 万円未満の場合は「利用フィー」が発生しない条件は残させていただきました。自らが属する自治体・団体組織内での研修や、小中高大学校での授業での利用など、講師への謝礼が発生しにくい、あるいは発生させてはならない場（無料開催）などでは、これまで同様 SDGs や地方創生の考え方を拡げる普及ツールとしてお役に立てください。

## 5 | 最後に、ご理解いただきたい「思い」として

冒頭お伝えした通り、公認ファシリテーター資格取得希望者が、今なお増え続けており、事務局でも想定外の人気資格へと急成長してまいりました（参考 2019 年 8 月 36 名、9 月 48 名が新たに公認される予定です）。今後は、公認資格もサブファシリテーションを経験しないと付与しないルールへと変更する次第です。

今後、さらに多くの質の高いファシリテーターが、より多くの人たちに高品質なゲーム体験の場を提供し続けて行くためには「ファシリテーター同士が学び合える関係づくり」「より多くの良質なゲーム体験の場の創出」「ファシリテーションクオリティの維持とさらなる向上」が必要不可欠と考えております。合わせて、みなさまのような経験を持った公認ファシリテーターのご協力も必要不可欠です。

かねてより本ゲームは、SDGs の学びの場や、地方創生を实践する場で「再現可能なサイエンスにしたい」という想いを胸に開発・運用して参りました。プロのファシリテーターでなくても、想いのあるファシリテーターであれば、ポータブルなスキルとして本資格を有効活用いただける。そうした社会を創出したいと考えてきた次第です。

今回の新制度への改定については、それぞれのお立場で色々ご意見もあることと存じますが、共に SDGs の理解促進、地方創生実践の場の活性化のために、ファシリテーターの皆さま方と共にこれからも活動していきたいと考えている次第です。そのための制度改定であること、重ね重ねご理解賜りたく、大切なお知らせという形でご連絡させていただきました。

本件につきまして、ご不明な点や疑問点などがありましたら、お気軽にご連絡くださいませ。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

SDGs de 地方創生事務局 info@sdgslocal.jp

特定非営利活動法人イシュープラスデザイン  
代表理事 笥 裕介

株式会社プロジェクトデザイン  
代表取締役 福井 信英